

青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋

よりそい、未来へつなぐ

Aomori Prefectural Government
Master Plan 2024-2028

—
Aomori Transformation

青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋

よりそい、未来へつなぐ

Aomori Prefectural Government Master Plan 2024-2028



Aomori
Prefectural Government
Master Plan 2024-2028
—
Aomori Transformation





Introduction

Aomori Prefectural Government Master Plan
2024-2028

見上げる空の青さに心を打たれ、見渡す海の碧さに心が安らぎ、山々の深い蒼さに心が洗われる。

長い歴史の中で受け継がれてきた雄大な自然とその多様性は、多彩で独自性に富む文化や伝統を各地で育み、私たちの生活に潤いと安らぎを与えてくれます。

青森が私たちにもたらす豊かさは、何物にも代え難い、かけがえのないものです。

このことは、一万年以上の長きにわたって平和で協調的な社会を築くとともに、争いのない独特な文化を築き上げた先人たちの生活と精神文化を今に伝える世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」、世界最大級のブナの原生林と多種多様な動植物が織りなす貴重な生態系を今日まで継承する世界自然遺産「白神山地」、これら2つの世界遺産を併せ持つことが、その証左でありましょう。

こうした顕著で普遍的な価値や豊かさを持つ一方で、それらを日々の暮らしの中で実感する場面は少なく、本県が有する本来の価値や魅力が十分に発揮されていないことは明らかです。

昨今、社会経済環境が急激に変化する中、本県が時代の流れに取り残されることなく、その先頭を走っていくためには、誰もしたことのない大きな「変革」が必要です。

そこで、県民の皆様と共に新しい青森県づくりに向けた大きな一歩を踏み出すため、本計画全体を貫く基本理念として「“AX” (Aomori Transformation) ～青森大変革～」を掲げました。

新たな未来を切り拓いていくための起点となる「挑戦」。

本県の課題や可能性、進むべき道筋を、県と県民とが共に考えていくための道標となる「対話」。

人口減少を始めとする本県の諸課題を解決し、地理的・時間的制約を飛び越えて世界へ羽ばたくための翼となる「DX」。

これらを基盤に「AX」を実現するため、何よりも大切なことは、私たち自身の意識を変えることです。

青森だからできないのではなく、「青森だからこそのできる」。「青森でしかできない」。

県民一人ひとりが、「青森を変えたい」、「青森を良くしたい」という強い思いを持ち、新たな未来を切り拓く挑戦をしていかなければなりません。

そうして皆様と共に踏み出した青森の新しい未来には、私たちのめざす姿である「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」が鮮やかに映し出されているはずです。

青森を大きく前進させる「AX」の一歩を踏み出すのは、来年からでも、明日からでも、今日からでもなく、「今」から。このページをめくった瞬間から、「AX」の扉は開かれます。

さあ、新時代の扉を共に開きましょう。

青森県知事

宮下 宗一郎

Introduction

Aomori Prefectural Government Master Plan 2024-2028

目次



序章	策定の目的	p03
	基本的な考え方	03
	計画期間	03
	計画の基本理念	04
<hr/>		
第1章	時代の潮流と今後の社会展望	p09
	重要な局面を迎える青森県の人口構造	11
	本県における将来への明るい兆し	12
	本県が立ち向かうべき課題	20
	青森新時代に向けて	30
<hr/>		
第2章	青森県の2040年のめざす姿	p33
	2040年のめざす姿	35
	めざす姿の実現に向けて	36
<hr/>		
第3章	政策・施策体系	p39
	政策テーマ1 しごと	44
	政策テーマ2 健康	52
	政策テーマ3 こども	60
	政策テーマ4 環境	70
	政策テーマ5 交流	82
	政策テーマ6 地域社会	94
	政策テーマ7 社会資本	102
<hr/>		
第4章	地域別取組方針	p109
	東青地域	112
	中南地域	118
	三八地域	124
	西北地域	130
	上北地域	136
	下北地域	142
<hr/>		
第5章	マネジメントサイクルの展開と取組の重点化	p149
<hr/>		
第6章	計画の推進	p155
<hr/>		
資料編		p161

Prologue

青森県基本計画
序章

序章

1 策定の目的	03
2 基本的な考え方	03
3 計画期間	03
4 計画の基本理念	04

CONTENTS

序章

Aomori Prefectural Government Master Plan

“Prologue”



1 策定の目的

急速に進行している人口減少は、現在、そして将来の社会・経済システムをどのように維持し、社会をどのように発展させていくかを考える上で、非常に大きな課題です。また、グローバル化やデジタル化の進展に伴い、産業構造や社会システムが転換しつつあることに加え、世界との距離がぐっと近づいたことにより、国際情勢の緊迫化による物価高騰や新興感染症の流行、気候変動など、世界各地で起きている出来事が、私たちの日常生活にもますます大きな影響を及ぼすようになりました。

このように急激に時代が変化し、将来の予測が困難な時代にあっても、私たち青森県民が、人口減少に伴う様々な課題を乗り越え、持続可能な社会をつくり、本県の持つ価値や魅力を次の世代に確実につないでいくためには、国内外における社会経済環境の変化にしっかりと対応するとともに、これまで築いてきた社会基盤や地域特性を生かしながら、あらゆる主体と連携・協働し、未来を見据え、新しい青森県づくりを進めていくことが重要です。

そのため、将来の青森県のめざす姿を県民と共有しながら、その実現に向け進むべき方向性を示し、取り組んでいく指針として、新たな「青森県基本計画」を策定するものです。

2 基本的な考え方

この計画は、県行政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針です。

本県を取り巻く社会経済環境や今後の展望等を踏まえた、本県のめざす姿を県民と共有します。

めざす姿の実現に向けて、7つの政策テーマ及び圏域ごとに策定した地域別取組方針に沿って取組を推進します。

3 計画期間

将来のめざす姿を見据えつつ、社会経済環境の変化にも的確かつ柔軟に対応していくため、5年間(2024年度～2028年度)とします。

4 計画の基本理念

(1) 基本理念

本県が、直面する多くの課題を乗り越え、新たな時代を実現していくため、この計画では、計画全体を貫き、県と県民が共有する基本理念を次のとおりとします。



(2) 基本理念の考え方

本県には、人口減少、若者の県外流出、全国下位の県民所得や平均寿命など、長年にわたり解決できていない課題が数多くあります。

本県の県民所得や平均寿命は着実に改善しているものの、他県も同様に改善しているため、青森県が確実に良くなってきていることを実感しにくい状況です。全国的な立ち位置が変わらないため、県民意識の中には「青森には何もない」などといった本県への負のイメージと、都会に対する漠然とした憧れや県外志向があり、就業環境なども絡んで、若者の県外流出にも歯止めがかかっていません。

しかし、時代は大きく変わりつつあります。デジタル技術の劇的な進化は、私たちの暮らしや働き方、価値観などに大きな変化をもたらしています。コロナ禍を経て、リモートでの会議やキャッシュレス決済が一気に普及し、ヒト、モノ、カネ、情報は、距離や時間の制限を受けずに、世界を移動するようになりました。AIの進化が仕事の内容や勉強の仕方など、これまでの固定観念を変えてしまう。そういう時代が、現実として、目の前に迫っています。

この時代の変わり目の今こそ、本県のポテンシャルとこれまで積み上げてきたチャレンジの成果を生かし、突破口を開き、流れを大きく変え、解決の方向へ転換していくチャンスです。

コロナ禍等の影響で世間に漂っている閉塞感を打破し、誰も経験したことのない人口減少社会に対する県民の不安を取り払い、希望を抱きながら未来に向かって進んでいくためには、県が、今までの常識や前例踏襲、縦割り・横並び意識から脱却し、県民目線で県民の暮らしに向き合い、変わっていかねばなりません。そして、県民の皆さんにも、変化を受け入れ、変化への行動を起こしていただくことが大切です。

私たち一人ひとりが、青森を変えていくための挑戦を続け、そしてまた、一人ひとりの挑戦を尊重し、支えていく。そのような世界が実現したとき、私たちの進む道筋は明るく照らし出されているはずで、AX (Aomori Transformation) という基本理念のもと、本県の抱える様々な課題に立ち向かい、新しい青森県づくりのための大きな一歩を踏み出しましょう。

挑戦 対話 DX²

変革への起点

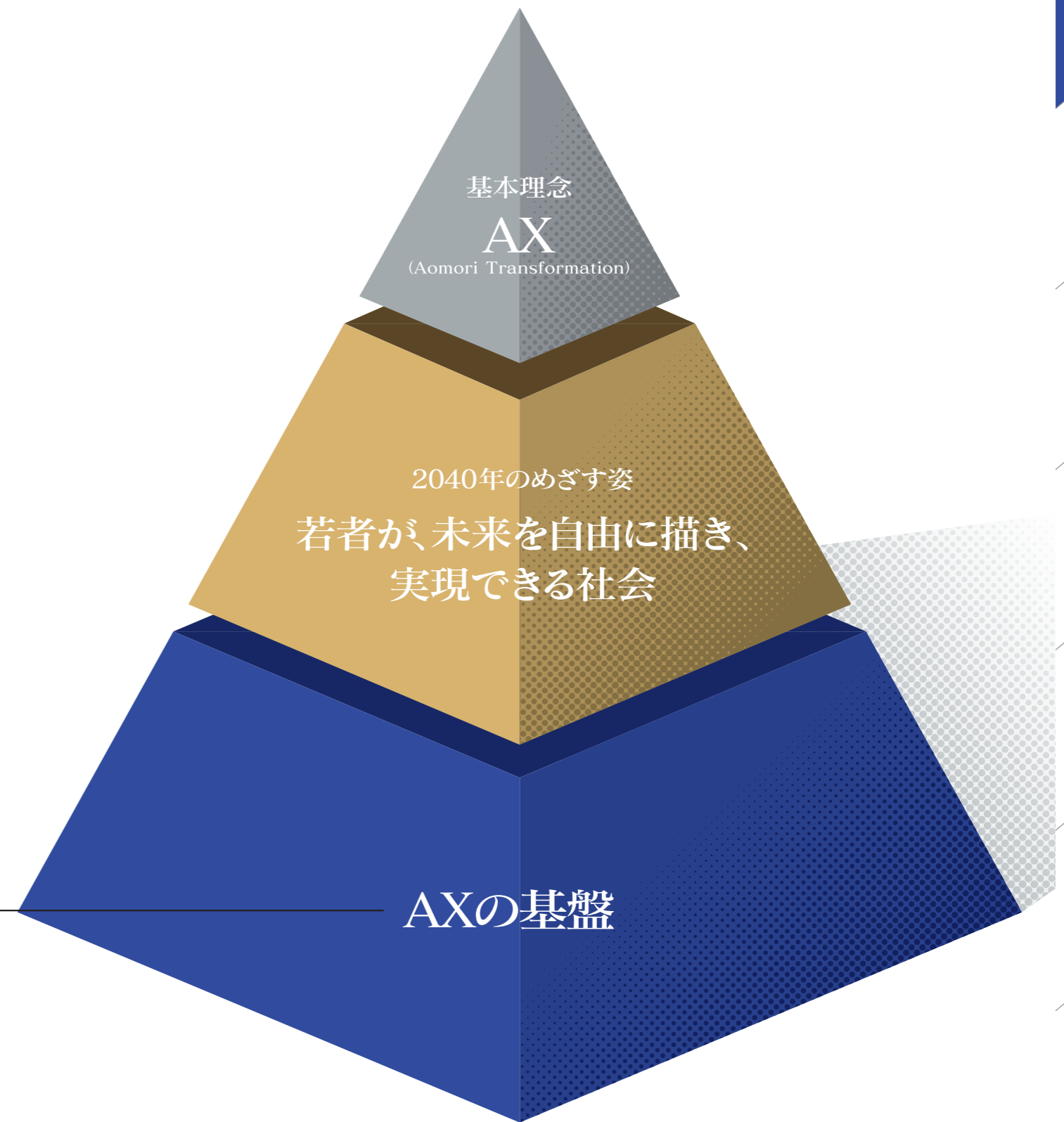
変革に向けてまず必要なことは、「青森を変えたい」「青森を良くしたい」という思いを持ち、行動していくことです。特に、私たち青森県民自身が持つ、青森県に対するネガティブな意識を転換し、本県が有する価値や魅力を世界に向けて発信していくこと、そしてふるさとあおもりを愛し、誇りに思う人を増やしていくことが大切です。本県には、豊かな自然や、長年培われてきた本県独自の文化・風土、魅力あふれる人財¹など、国内外に誇れる多彩な地域資源があります。それらの地域資源やこれまで築いてきた社会基盤も大いに活用しながら、時代の流れや世界情勢に的確に対応し、自由な発想や新しい手法を積極的に取り入れ、進化に向けた挑戦を始めることが、変革への第一歩となります。

変革への道標

計画の推進に当たっては、県民がどのようなことに対して不安を感じ、どのような社会を望んでいるか等について、県民の声にしっかりと耳を傾けることが必要です。また、新しい青森県づくりには、県民の主体的な行動や、県と県民との協働が欠かせません。政策の企画・立案段階から、県と県民、市町村、関係機関との対話を通じ県政の課題等を共有し、進むべき方向性を定め、県と県民が力を合わせて取組を進めていくことが重要です。

変革への翼

デジタル化の進展は、我が国の産業構造や社会システムを大きく転換させつつあります。また、場所や時間の制約を受けることなく、青森県にいながらにして世界とつながり、本県の持つ価値や魅力をあらゆる場所に発信することが可能になりました。変革に向けては、デジタル技術を最大限活用し、新たなしごとを生み出し、産業を発展させていくとともに、県民生活の利便性を向上させ、豊かで安心な暮らしやすい生活を創り出していく必要があります。



1 人財：青森県では、「人は青森県にとっての『財(たから)』である」という基本的な考えから、「人」「人材」などを「人財」と表しています。
2 DX：デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)の略で、デジタル技術を社会に浸透させて生活をより良いものへと変革すること。

Aomori Transformation Conceptual Diagram **概念図**